

令和3年度「ごみ減量・資源化に関する行動・意識等」に関する 市民意識調査【結果概要】

■ 調査の目的

市民のごみ減量・リサイクル施策に対するニーズ等を把握し、今後のごみ減量・リサイクル施策に活用するため。

■ 調査設計

調査対象者	札幌市内の満18歳以上の男女
標本数	4,000人
抽出方法	等間隔無作為抽出法
調査期間	令和3年10月27日(水)～11月12日(金)
調査方法	郵送配布・郵送回収法

■ 回収結果

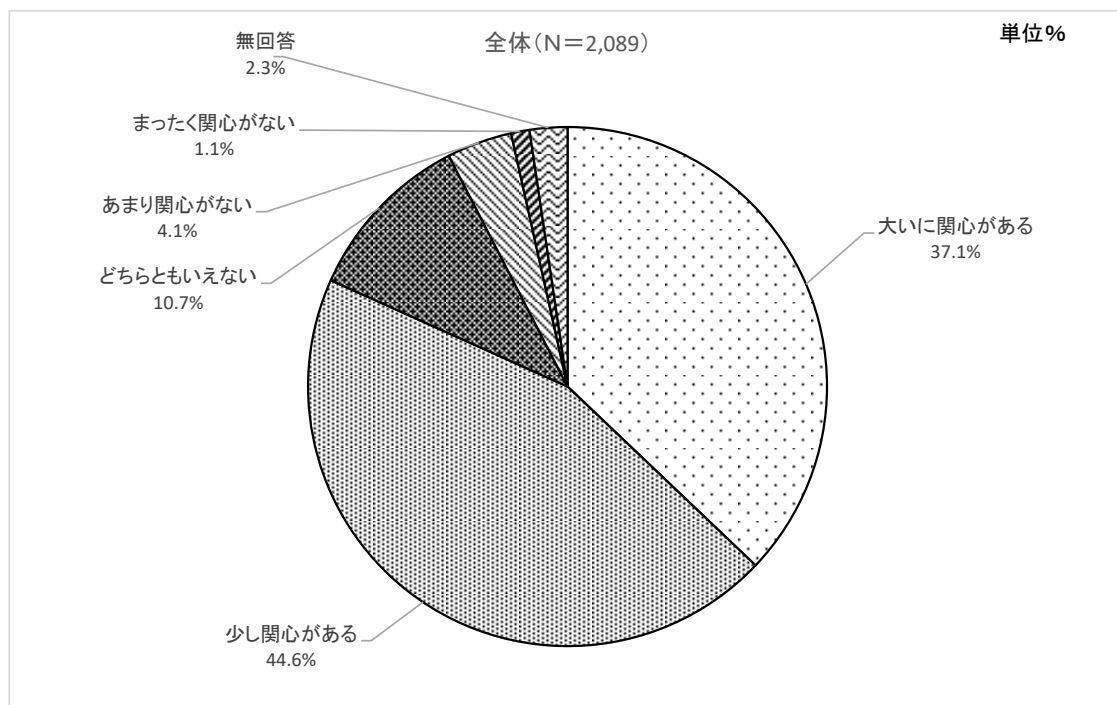
発送数	4,000件
回答数	2,089件
アンケート回収率(回答数÷発送数×100)	=52.2%

■ 主な結果

※本書から抜粋したもの。設問番号は本書と同じ。

1 ごみ減量・リサイクルに対する行動・リサイクル意識について

問1 あなたは、ごみの減量やリサイクル、分別・収集など、ごみに関することについて関心がありますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。



ごみに関することについての関心は、8割強の人がごみ減量・リサイクル・分別・収集などに『関心がある』と回答している。

問1 3R※についてお伺いします。

※3R（さんアール、スリーアール）とは

以下の3つの英語の頭文字をとった言葉です。また、3Rのうち優先順位の高いリデュース、リユースを併せて2R（にアール、ツーアール）といいます。

① リデュース (Reduce)：発生・排出抑制

ごみの発生、資源の消費をもとから減らすこと。不要な物は買わない、物を大切に使うなど

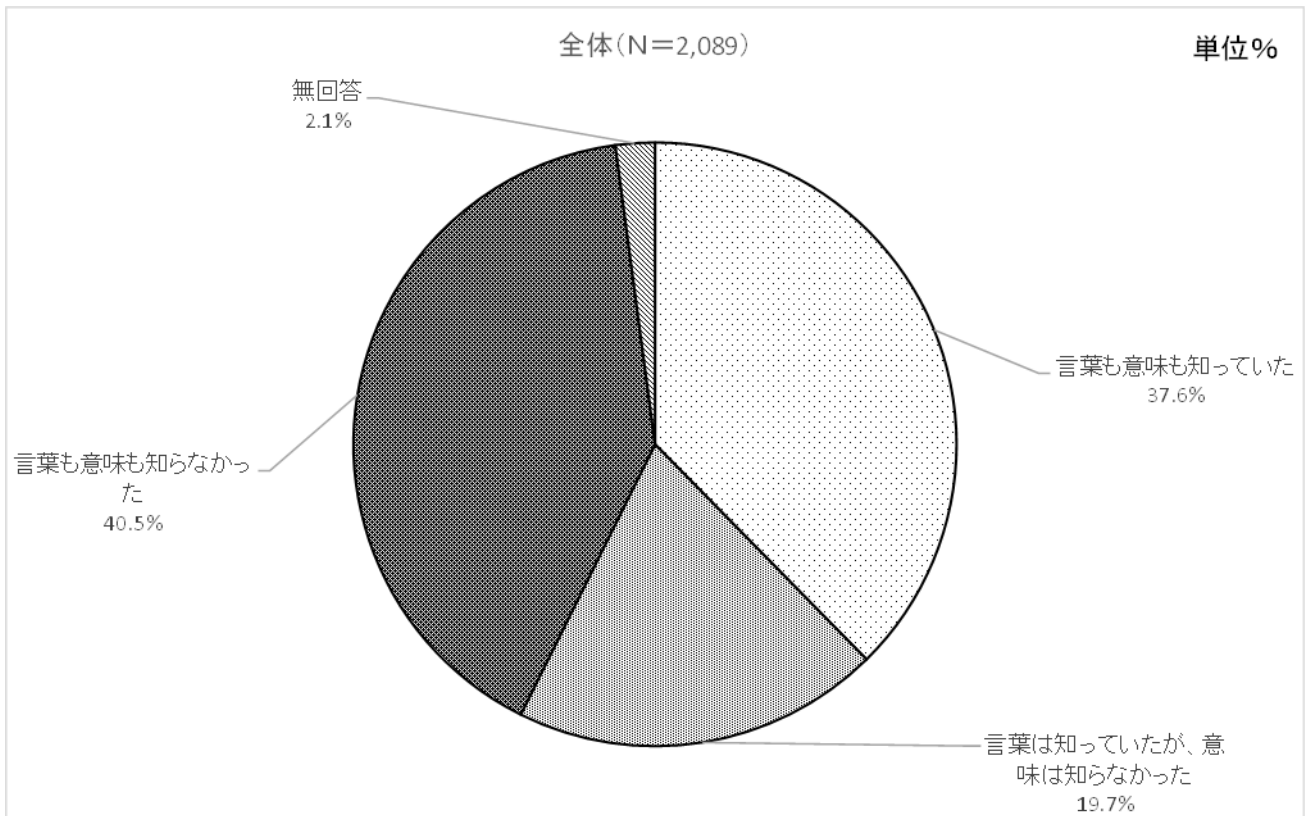
② リユース (Reuse)：再使用

繰り返し使うこと。リユースショップ（リサイクルショップ）の利用など

③ リサイクル (Recycle)：再生利用

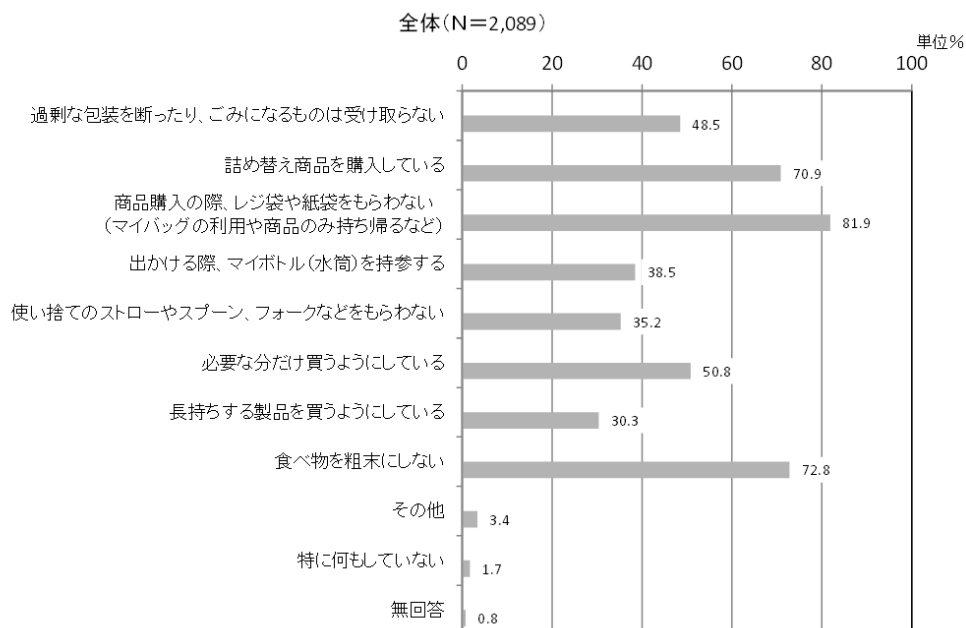
資源として再利用すること。古紙から新しい紙を作る、ペットボトルを別のプラスチック容器にするなど

(1) あなたは、「3R（さんアール、スリーアール）」という言葉や意味を知っていますか。次の中からあてはまるものに1つ○をつけてください。



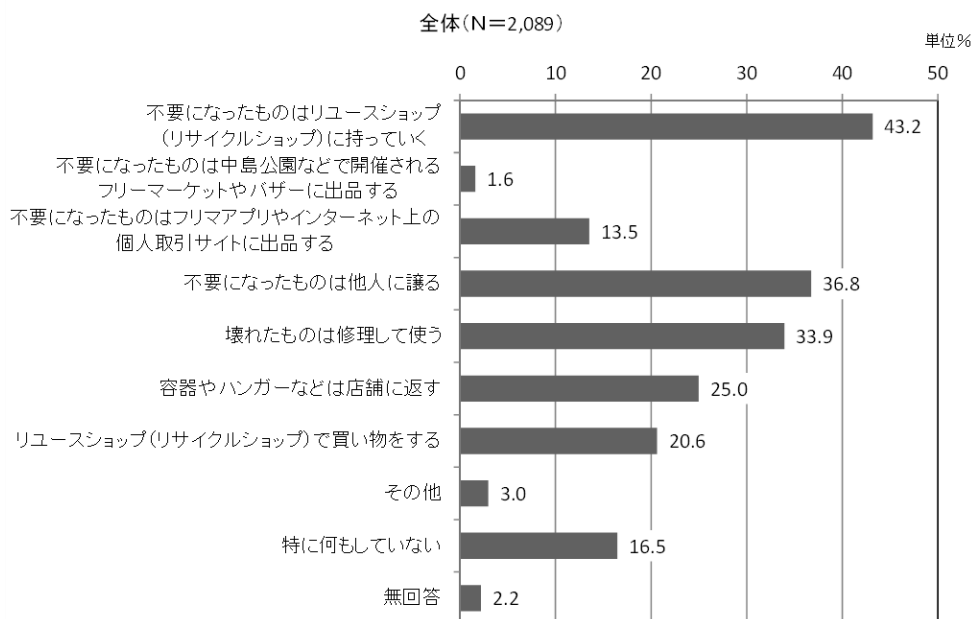
3Rについて、意味を『知っていた』と回答したのは4割弱となっている。

(2) ごみを減らす（リデュース）ために、あなたが行っていることは何ですか。あてはまるものいくつかでも○をつけてください。



ごみを減らす（リデュース）ために、それぞれ7割以上の方が「レジ袋を貰わない」、「食べ物を粗末にしない」、「詰め替え商品を購入する」を行っていると回答している。また、「特に何もしていない」と回答したのは2%未満となっている。

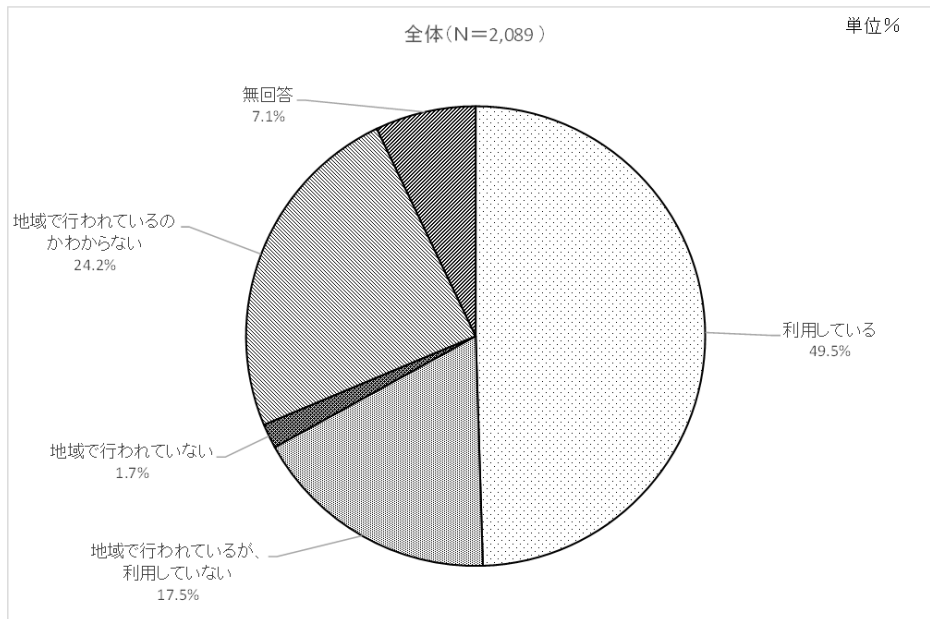
(3) 製品などの再使用（リユース）のために、あなたが行っていることは何ですか。あてはまるものいくつかでも○をつけてください。



製品などの再使用（リユース）のために、4割強の人が「不要なものはリユースショップに持っていく」と回答している。一方、「特に何もしていない」と回答したのは2割弱となっており、リデュースの場合よりも高い割合となっている。

問5 集団資源回収についてお伺いします。

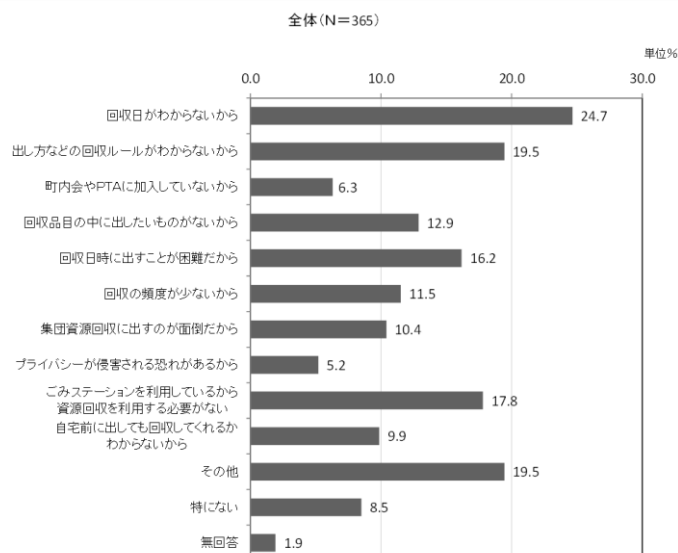
(1) あなたは、集団資源回収を利用していますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



5割弱の人が集団資源回収を「利用している」と回答している。一方、「地域で行われているのかわからない」と回答した人が2割強、「地域で行われているが、利用していない」と回答した人は2割弱となっている。

(1)で「2 地域で行われているが、利用していない」と答えた方にお聞きします。

(3)あなたが集団資源回収を利用しない理由は何ですか。次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

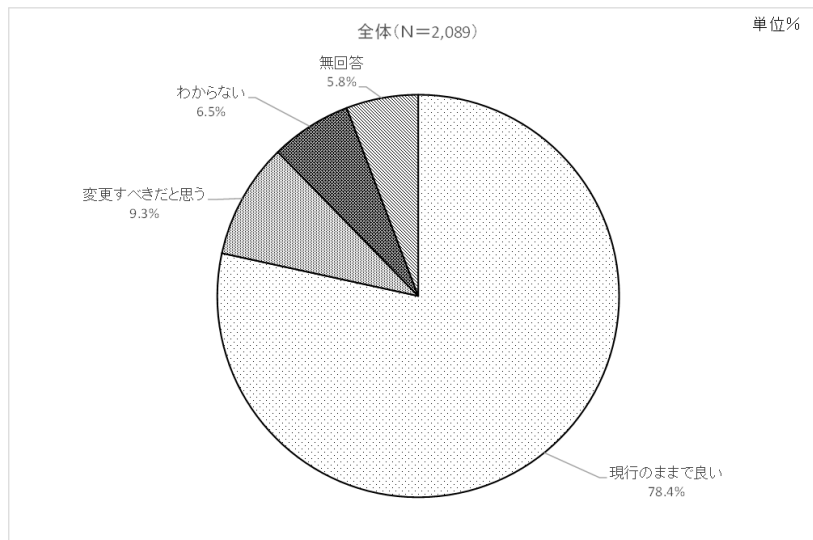


集団資源回収を利用しない理由としては、「回収日がわからないから」と回答した人が2割強となっている。また、「出し方などの回収ルールがわからないから」・「ごみステーションを利用しているから資源回収を利用する必要がない」がそれぞれ2割弱となっている。

2 ごみの収集方法などについて

問6 家庭ごみの収集回数についてお伺いします。

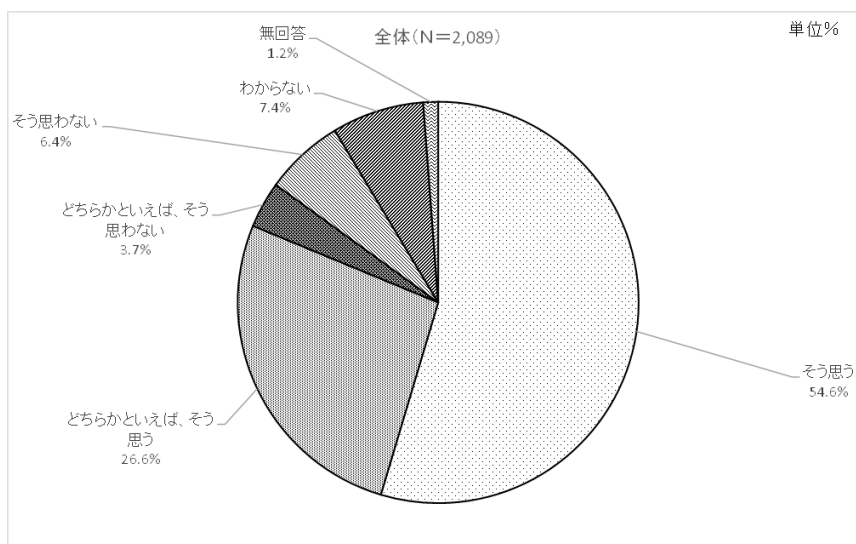
(1) ごみステーション管理の負担や収集経費などを考慮すると、収集回数全体を増やすことは難しい状況です。あなたは、現行の収集回数の中で、ある区分を増やし別の区分を減らすなど、一部変更した方が良いと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



ごみの収集回数は、「現行のままで良い」と回答した人が8割弱となっている。

3 家庭ごみ処理手数料制度について

問15 ごみを多く出す人が大きい費用負担、少なく出す人が小さい費用負担という現在の家庭ごみ処理手数料制度は、公平なルールだと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。

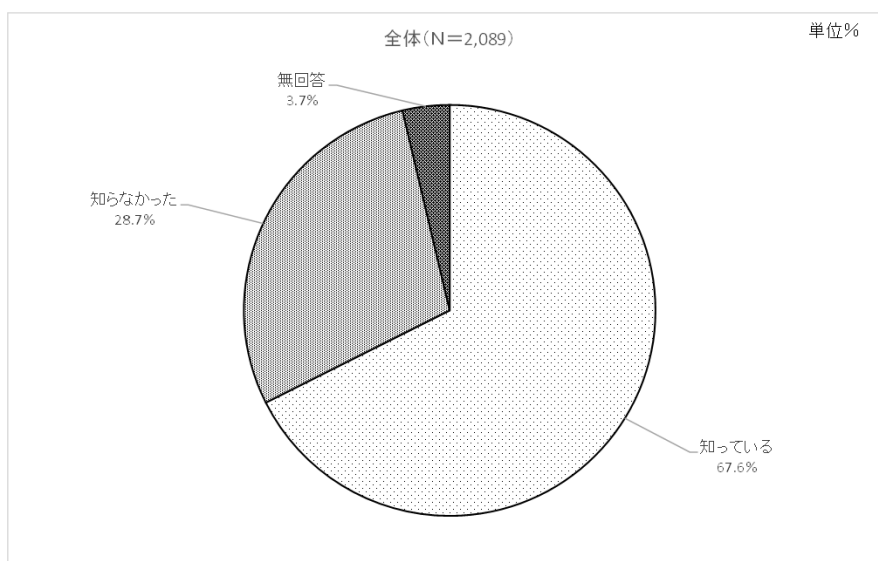


家庭ごみ処理手数料制度が公平なルールかどうかについて、「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合が8割強となっている。

4 ごみの出し方について

問16 筒型乾電池、加熱式たばこ・電子たばこの出し方についてお伺いします。

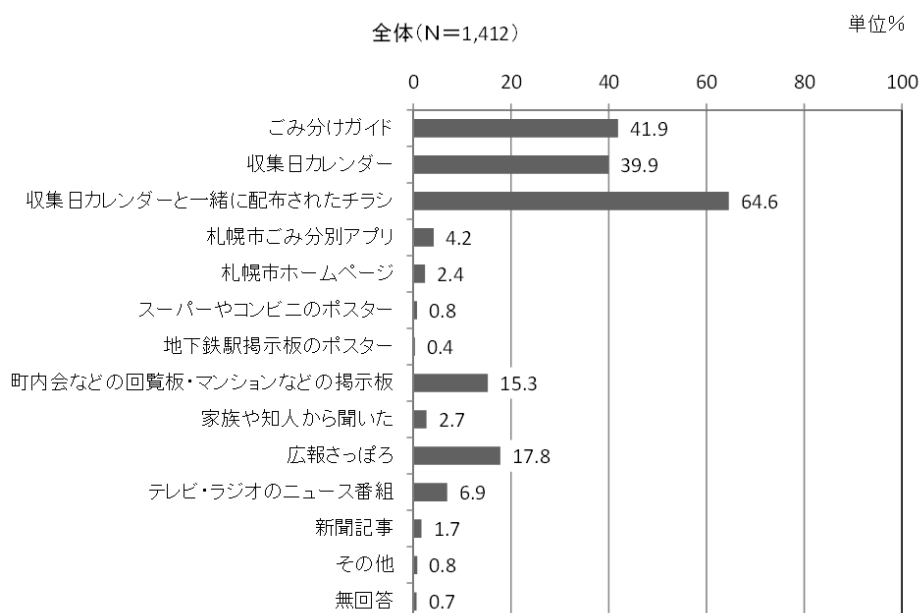
(1) あなたは、令和3年10月から「筒型乾電池」、「加熱式たばこ・電子たばこ」の出し方が変更になったことを知っていますか。次のどちらかに1つ○をつけてください。



令和3年10月から「筒型乾電池」、「加熱式たばこ・電子たばこ」の出し方が変更になったことについて、「知っている」と回答した人は7割弱となっている。

(1)で「1 知っている」と答えた方にお聞きします。

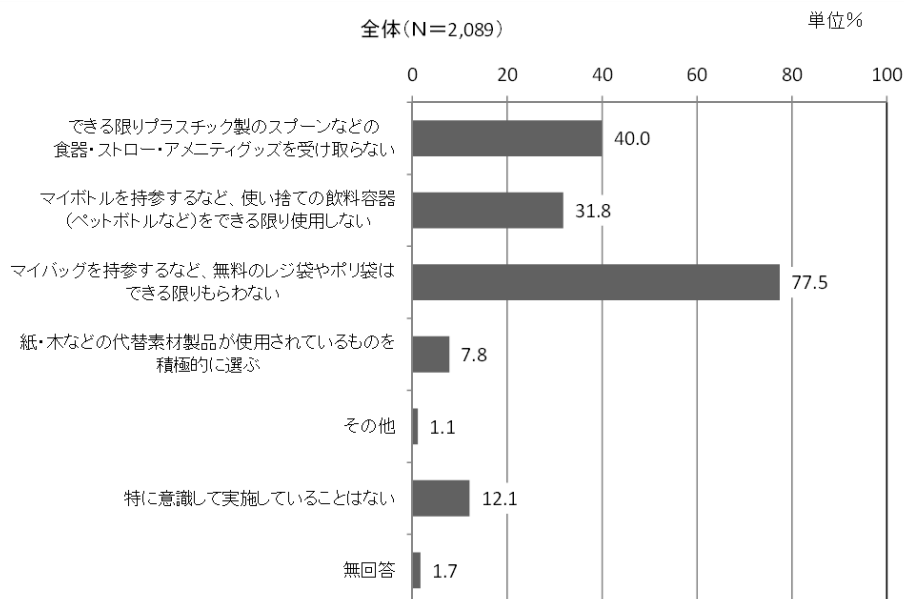
(2) あなたは何を見て（聞いて）出し方の変更を知りましたか。次の中から、あてはまるものにつくても○をつけてください。



何を見て（聞いて）「筒型乾電池」、「加熱式たばこ・電子たばこ」出し方の変更を知ったかについて、「収集日カレンダーと一緒に配布されたチラシ」と回答した人は6割強となっている。また、「ごみ分けガイド」と回答した人は4割強、「収集日カレンダー」と回答した人は4割弱となっている。

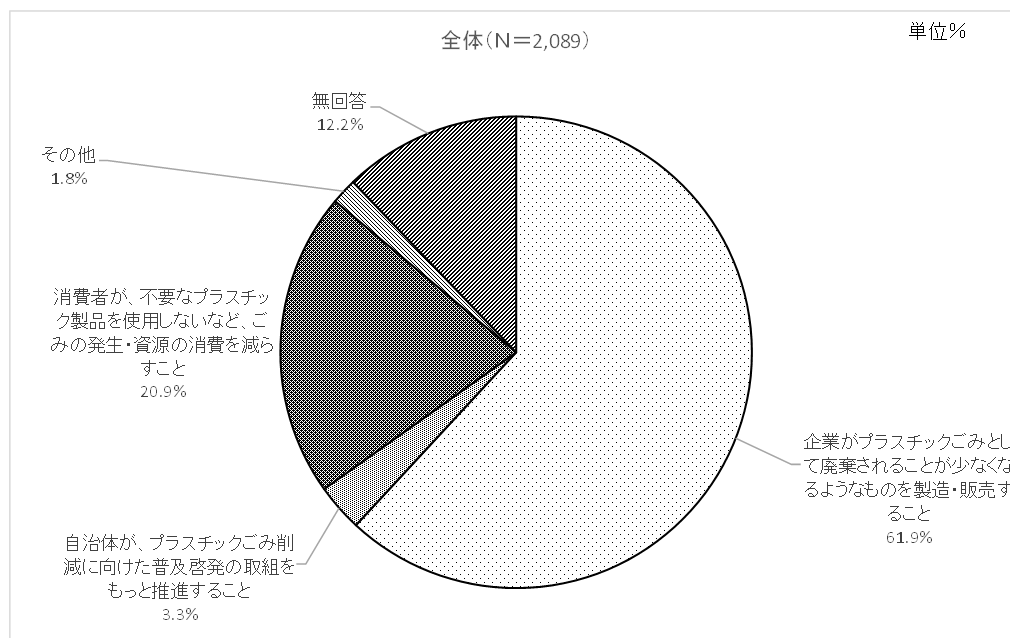
5 プラスチックごみについて

問18 あなたがプラスチック製品に関して普段実施していることは何ですか。次の中から、あてはまるものいくつかでも○をつけてください。



プラスチック製品に関して普段実施していることについて、「マイバッグを持参するなど、無料のレジ袋やポリ袋はできる限りもらわない」と回答した人が8割弱となっている。

問19 あなたがプラスチックごみを減らすために必要だと思うことは何ですか。次の中から、特に重要だと思うものに1つ○をつけてください。



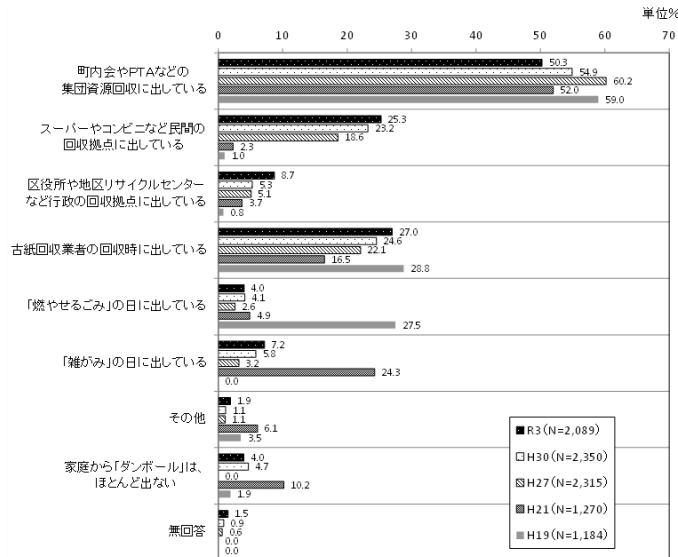
プラスチックごみを減らすために必要だと思うことについて、「企業がプラスチックごみとして廃棄されることが少なくなるようなものを製造・販売すること」と回答した人が6割強となっている。

◇ 過去調査結果との比較（平成 19・21・27・30 年度）

1 ごみ減量・リサイクルに対する行動・リサイクル意識について

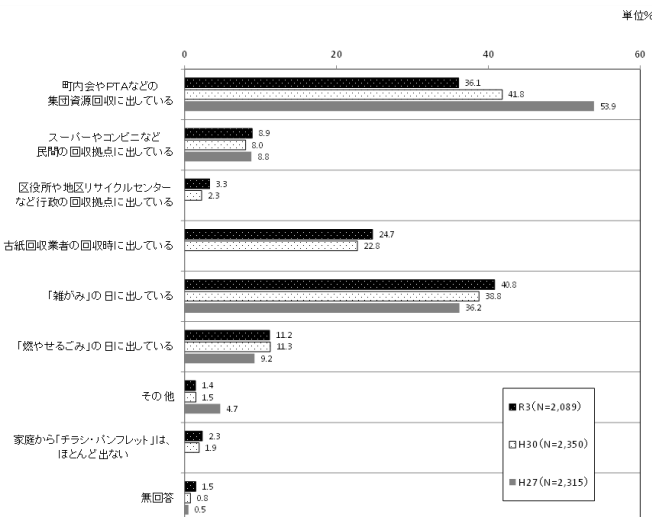
問3 あなたは次の資源物を処分するとき、どのようにしていますか。あてはまる主なものに最大3つまで○をつけてください。

(2) ダンボール



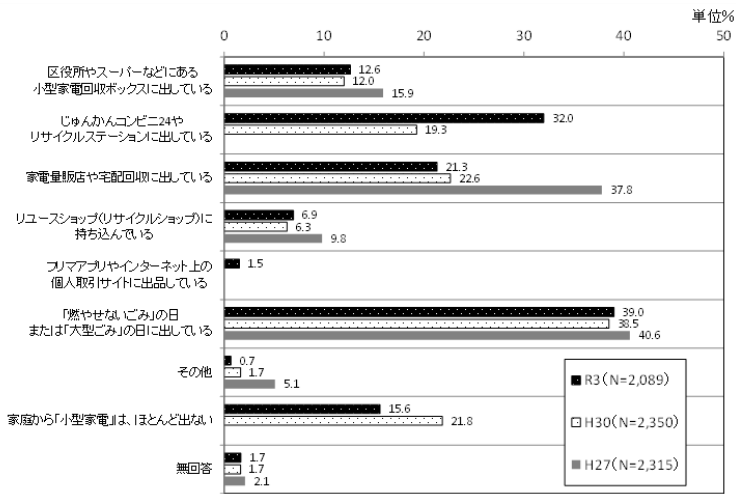
ダンボールの処分について、「町内会やPTAなどの集団資源回収に出している」と回答した人の割合は、5割強となっているが、平成27年度以降減少傾向がみられる。一方で、「スーパーやコンビニなどの民間の回収拠点に出している」と回答した人は3割弱であり、増加傾向がみられる。

(3) チラシ・パンフレット



チラシ・パンフレットの処分について、「町内会やPTAなどの集団資源回収に出している」と回答した人の割合は4割弱となっており、減少傾向がみられる。一方で、「『雑がみ』の日に出している」と回答した人の割合は4割強となっており、増加傾向がみられる。

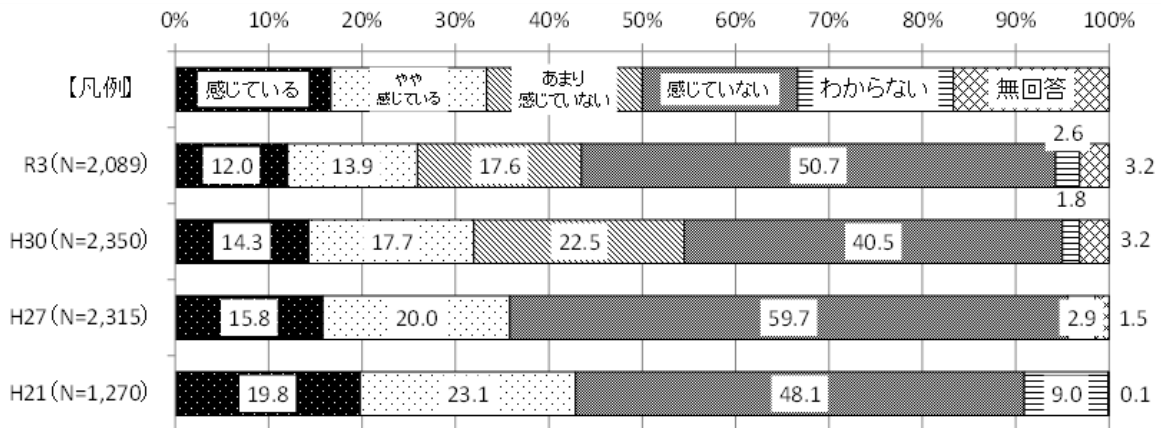
(7) 小型家電（テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコンを除く家電製品）



小型家電の処分については、「じゅんかんコンビニ24 やリサイクルステーションに無料で出している」と回答した人は3割強となっており、平成30年度（2割弱）から大きく増加している。一方、「『燃やせないごみ』の日に出している」と回答した人は4割弱で過去の調査と同程度となっている。

2 ごみの収集方法などについて

問7 あなたは、使用しているゴミステーションに問題を感じていますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



ゴミステーションについて問題を「感じている」・「やや感じている」と回答した人の合計の割合は3割弱となっており、過去の調査と比較すると、減少傾向がみられる。